

# 高齢者施設との音楽交流会

教育課程上の位置付 生活単元学習

## 実施概要

今回、中学部で行う活動は初めてでした。中学部の2年生全員で施設を訪問しました。開会式の後、1曲目「おお、牧場はみどり」は、利用者と一緒に肩をたたきながら歌い、大きな拍手をもらいました。次の曲「風になりたい」では、1人の生徒のピアノ伴奏に合わせて、生徒たちは打楽器を演奏しました。次の「ふるさと」では、利用者も一緒に手話を付けて歌いました。最後に、作業学習で作成した革製品を利用者にプレゼントしました。

- 活動参加者内訳** 当校 生徒…26人 担当教員…7人  
交流先 利用者…23人 担当職員…3人
- 交通手段** 当校とゴールデン鶴亀との距離はおよそ200m  
徒歩で訪問 約3分



リズムに合わせて一緒に手遊び歌

## 活動報告 実施日：11月9日(木)

生徒代表による始めの挨拶の後、生徒たちは利用者の前で、最初の曲、「おお、牧場はみどり」を、肩をたたき動作を付けて合唱を披露しました。その後に、生徒が肩たたきのタイミングを説明し、利用者の席の間に生徒が9人入って、一緒に肩をたたき動作をしながら合唱しました。

2曲目の「風になりたい」では、生徒が手に持ったタンバリンやマラカスなどのパーカッション楽器をリズムに合わせて大きく鳴らしながら元気に歌いました。ピアノの伴奏も生徒が行いました。

3曲目の「ふるさと」では、生徒が手話を付けて歌い、利用者の席の間に生徒が入って、合唱をしました。利用者も生徒の手話をまねしながら、笑顔で歌っていました。歌い終わると利用者からアンコールの声が上がリ、生徒は笑顔でアンコールに応え、参加者全員で「ふるさと」を、振り付けて合唱しました。

歌の交流の後に「作業学習」の授業で作った革製品のプレゼントを各クラスの代表生徒6人が、利用者代表者6人に手渡しし、利用者からも感謝の言葉をいただきました。「また、来てね」という利用者の言葉に「また来るよ」と応える生徒もいて、手を振りながら会を終えました。

### 当日のスケジュール

- 10:30 学校、施設、SSC3者事前打合せ(1階相談室)
- 11:00 開会式 施設より学校紹介(生徒司会)  
始めの言葉  
歌の交流 ・「おお、牧場はみどり」  
・「風になりたい」 ・「ふるさと」  
アンコール「ふるさと」  
プレゼントの贈答  
「閉会式」  
お礼の言葉/利用者の感想/終わりの言葉

11:35 終了

### ■活動のために準備したもの

交流会で発表するために、「音楽」や「総合的な学習の時間」等の授業を使い、歌や手話、楽器演奏の練習を行いました。また、交流会でプレゼントするために、「作業学習」の授業で作製した革工の製品(「しおり」「コースター」)を準備しました。

### ■工夫したところ

利用者の方々にも、一緒に参加して楽しんでいただけるよう、手で肩をたたいてリズムをとったり、手話で動作を模倣したりできる歌を取り入れました。また、より接点や親近感をもって交流できるよう、生徒が利用者の方々の近くに行き、活動する場面を設定しました。

### ■実施にあたって注意したところ

初めての場所での活動となるため、心理状態が不安定になる生徒が何名か出ることが予想されました。事前学習として、何回か当日と同じような並びや流れで演奏や司会を行う練習を設定するとともに、生徒と利用者の方々の安全に配慮し、代表として前に出る生徒は、初めての環境でも落ち着いて活動できる生徒を選びました。

### ■良かったと思うところ

生徒が「利用者の方々に喜んで聴いてもらう」ことを目標に、歌や演奏を一生懸命練習し自信をもって発表できたことや、利用者の方々からの温かい拍手や笑い声、アンコールをいただいたことにより成功を実感し、有用感や自己肯定感を得ることができたと感じています。

### ■今後に向けての学校からの抱負

交流会を機に、改めて周囲の方々に優しさをもって接する気持ちや、「また人に喜んでもらえる活動をしたい」という生徒の意欲を育てていく活動に、今後も取り組んでいきたいと考えています。

当校は、昨年度まで高等部がありましたが閉課程となり、今年度からは小学部・中学部のみを設置する知的障害特別支援学校となりました。地域の福祉避難所として防災の拠点として地域と交流しています。社会貢献活動では、これまで高等部がゴールデン鶴亀ホームで音楽交流や洗濯物たたみのボランティア等をしていました。

## 活動の感想

### 生徒・教員の感想

#### 生徒

- 音楽の時間に練習した曲を、利用者の方々と一緒に歌ったり手話をしたりして、みんなで楽しみました。僕はピアノが得意なので「風になりたい」の伴奏もしました。人とのコミュニケーションが苦手だけど、音楽は人と人をつないでくれます。これからも音楽で人に喜んでもらえたらうれしいです。
- 歌や楽器を利用者の方々に聴いてもらって楽しかったです。帰るときは寂しかったです。また行きたいです。

#### 教員

普段から取り組んでいる音楽を利用者の皆様と一緒に歌や身体表現で共有でき、生徒たちにとっても達成感、喜びを感じられるよい経験になりました。

### 施設の参加利用者・担当者の感想

#### 利用者

- すてきでした。一生懸命で楽しかったです。私も負けないで頑張ろうと、エールをいただきました。とっても今日はいい日でした。
- 純粋な気持ちが伝わり、涙が出ました。楽しかったです。

#### 介護部長

この度は、社会貢献活動の一環として「ゴールデン鶴亀ホーム」との交流会を企画していただきありがとうございました。交流会の中では、生徒の一生懸命に歌われている姿にご利用者の皆さんも感銘を受けておりました。ご利用者のお孫さんにあたる世代もあってか、「うちの孫にも見せてあげたい、すばらしかったわ。」と涙を流される方もいらっしゃいました。ご利用者の皆さんも今回のような交流会を楽しみにされています。今後も定期的に開催していただきたいと思います。ありがとうございました。

### ■実施までの経過 ※ (コ)：コーディネーター

- 8月2日 (コ)、学校を訪問。副校長と打合せ
- 9月20日 (コ)、施設を訪問。施設長に事業説明。施設長、活動受入れを快諾
- 9月29日 副校長、施設を訪問。施設長と日程を協議し決定
- 10月13日 (コ)、学校を訪問。担当教員とプログラム内容、準備するもの等相談
- 10月16日 (コ)、施設を訪問。施設長、介護部長とプログラム内容、会場レイアウト等を確認
- 10月23日 (コ)、副校長、施設長にメールと電話にて、再度、当日の打合せ内容を確認

### 交流先



## 社会福祉法人白陽会 指定介護老人福祉施設 ゴールデン鶴亀ホーム

住 所：東京都大田区矢口1-23-12

### ■施設概要

- 特別養護老人ホーム 定員80名
- ショートステイ 定員10名
- ディサービス 定員37名(一般型25名・認知症対応型12名)
- 地域包括支援センター
- 居宅介護支援事業所



注目を浴びて、緊張しながらのご挨拶



アンコールに応えて笑顔で歌いました